

オークランド大学夏期語学研修報告 (期間：2016年7月16日～8月6日)

2016年7月16日(土)から8月6日(土)にかけて、医学部第1学年上原あずささん、大田有穂さん、大森悠司さん、姜 慧蓮さん、芝 美月さん、松田征爾さん、村上宗駿さん、村田敏郎さん、渡邊 柗さん、医学部第2学年白川峻佑さん、看護学部第1学年松永沙織さん、宮島佑実さん、看護学部第2学年山田沙織さんの13名が、ニュージーランド・オークランド市にあるオークランド大学で3週間の語学研修プログラムに参加した。(国際交流センター)

しらかわ しゅんすけ
白川 峻佑 (医学部第2学年)

参加目的

今まで一度も海外留学やホームステイを経験したことがなかったため、今回のオークランド大学プログラムに参加することを決めた。参加するにあたって、これまで受験勉強や日々の英語の勉強の成果がどれくらい海外の人に通用するか、直接海外の人と話すことに不安を感じつつも楽しみに思っていた。

内容：語学研修(授業)

事前に行った試験によりレベル別のクラスに分かれての授業であり、自分のいたクラスは日本人他に中国人とタイ人がいた。授業内容は、金沢医科大学で行っているスピーキングの授業の応用程度の内容で理解するのはさほど難しくなかったが、授業中の発言に関しては英語でどのように表現したらいいのかわからず、あまり積極的に発言をすることができなかつたのが少し心残りである。一方、日本人と比べて中国人の方は、文法はあまり正しくなくても積極的に発言しており、見習いたいと感じた。授業の一環で日本人以外と関わる機会が多く、言語の壁は高かったが英語を通して海外の人と仲良くなったので有意義な授業であった。

授業外(アクティビティ等)

週末は ROTORUA と Bay of Islands へ行った。現地では様々なアクティビティがあり、どれも楽しいものばかりだった。ニュージーランドは自然豊かな国であるので、アクティビティをするにはとても適した環境であると改めて思った。また、ロード・オブ・ザ・リングやホビットの映画のロケ地としても有名なホビット村も観光した。事前に二つの映画を見ていたので、映画とまったく同じ風景を目の前で見ることができ、また、撮影方法や撮影の裏話なども聞くことができ、とても楽しかった。

成果

私は将来医師を志している身であり、良医になることにおいて英語の能力は必須であると考えている。そ

の点において、今回の留学はとても有意義なものだった。また、ホームステイを通して実際の海外の生活を学んだり、海外の文化に触れたり、様々な貴重な体験をすることができた。自分の今まで勉強してきた英語が現地の人に伝わった時は感動したし、日本人以外と英語を通して会話をするというのは新鮮な感覚であり、とても勉強になった。

将来への展望

今回の留学を通して、自分の英語力が未熟であることを実感した。医師になれば学会などで海外に行く機会があると思うが、特にスピーキング力やリスニング力といった実践において重要な力がまだまだ足りないため、これから将来に向けて英語力を養っていきたいと思う。



前列左から松永さん、山田さん、上原さん、渡邊さん。中列左から、姜さん、芝さん、宮島さん、大田さん、松田さん。後列左から大森さん、筆者、村上さん、村田さん